



高崎経済大学地域科学研究所

第16回地元学講座

映画のまち・高崎 いままでとこれから

高崎は、音楽の街であるとともに、映画の街でもあります。「ここに泉あり」が製作されたのが1955(昭和30)年。それから今日までの68年の間に、シネマコンプレックスが全国各地に出来、上映素材はフィルムからデジタルへと移行しました。そして家庭ではビデオからDVD・Blu-rayへと変わり、サブスクリプションによる動画配信が主流となりつつあります。どこにいても、スマホで映画が見られる時代になりました。

NPO法人たかさきコミュニティシネマの設立、高崎映画祭とシネマテークたかさきの運営、高崎フィルム・コミッション事業の開始、高崎電気館の再生といったさまざまな奮闘と努力を、コロナ禍による映画館の休館、高崎映画祭の開催見送りを経た今知ること、高崎から発する映画と映像文化の発展について考えたいと思います。

【講師紹介】



志尾 睦子(しお むつこ)

高崎映画祭 プロデューサー／NPO法人たかさきコミュニティシネマ代表理事
／シネマテークたかさき総支配人

高崎市出身。学生時代に参加した高崎映画祭の活動を経て、2004年にNPO法人たかさきコミュニティシネマの設立に関わり、同年12月に開館した群馬県内初のミニシアター、シネマテークたかさきの支配人となる。2008年11月、高崎映画祭並びにシネマテークたかさきを創設した茂木正男の他界をうけ、その後を引き継ぎ、現在に至る。2023年6月からは、全国のミニシアターや映画祭などをつくる一般社団法人「コミュニティシネマセンター」の代表理事に就任。

【日時】令和5年10月17日(火) 16:00～18:00

【場所】高崎経済大学 図書館ホール(図書館1階)

【受講料】無料

【定員】50名(先着順)

【申込み】申込フォーム(QRコード参照)、Eメール、はがき、FAXで、氏名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号・E-mailアドレス(任意)を明記して事務局まで
締切：10月12日(木)

【問合せ】高崎経済大学 地域科学研究所 事務局：研究グループ研究支援チーム

〒370-0801 高崎市上並榎町1300番地

TEL：027-344-6267 FAX：027-343-7103 E-mail：chiikikagaku@tcue.ac.jp

申込フォーム

